



六郷 ろくごう

六郷小学校

H30. 5. 2

No. 5

交通安全教室開催

今年度も、大仙警察署、美郷交番から署員の方に来ていただいて、「交通安全教室」を行いました。1・2年生は道路での歩き方について、3～6年生は自転車の乗り方について指導をしてもらいました。例年は5月中旬に行っていましたが、できるだけ早めに行いたいと考え、運動会も4月から5月へ移行したこともあって、この早い時期での開催ができました。



1・2年生は、後庭で道路の歩き方や手の上げ方について学習しました。



3～6年生は、グラウンドにコースを設定し、自転車の乗り方の確認をしました。近所の子も達に自転車を持ってきてもらい、それを借りてコースを回りました。3年生は自転車の技術も不十分なので、でこぼこのあるグラウンドの草地では、かなり乗るのに苦労していました。しかしながら、この時期に乗り方の確認ができたことはよかったですと思います。特に乗る前の後方確認、スタートする前の後方確認の大切さを意識できました。実際の場合も、後方や左右の確認は特にしっかり行ってほしいと思います。

運動会の応援練習スタート

5月13日の運動会に向けて、色ごとの応援練習が始まりました。



5年生 総合学習「六郷の商店街を盛り上げよう」

5年生の総合学習には、次の3人の方々に来ていただきました。

小西正一郎さん（小西合名） 岡田和浩さん（岡田書店） 竹村由広さん（竹村衣料）

3人の方には、六郷の商店街の歴史や現状についていろいろとお話いただきました。特に六郷の商店街は歴史が古く、400年前から始まった商店もあるのだそうです。また、他の市町村の商店街は、シャッターが閉まっている商店がたくさんあるのに、六郷はまだまだそれぞれの商店が頑張って営業しているというお話もありました。なぜ、そうなのかというと、六郷は地域の方々が商店街を守っていこうという気持ちが強く、みんなで盛り上げてきたからだそうです。しかしながら、現状は厳しいという話もありました。特に、商店街を歩く人がほとんどいないという悲痛な思いも語ってくれました。また、後継者がいないという課題も話されました。

後半はグループに分かれて、膝をつき合わせての質問コーナーとしました。いろいろな質問が次々に出されて、その一つ一つに丁寧に答えてくださいました。中でも、「どんな種類の店からなくなっていくのか」という質問が出され、小西さんからは「とてもいい質問だ。」と誉められました。つまり、「生活していく上で、必要感の低いものを販売している店からなくなっていく。」ということでした。

いずれにしても、六郷商店街のすばらしさと現状の大きな課題を感じる事ができた1時間でした。



6年生 総合学習「町づくりを自分たちの手で」

6年生の総合学習のテーマである「町づくり」は、子ども達には難しい内容です。他の学年のように、「六郷の自慢」「福祉」「商店街」という対象がはっきりしていればいいのですが、6年生は何を対象にして、働かなくてはいけいかが見えません。そこで今回は、実際に町づくりに取り組んでいる、二つの組織から来ていただいて、「なぜ、そのようなグループを立ち上げたのか」「具体的にどんな活動をしているのか」をお話してもらうことにしました。

APPから 鷹嘴亮さん、内田清文さん CDMから 扇田 亮さん

どちらのグループもプレゼンで説明くださり、写真もたくさん紹介しながら、具体的なお話をしてくれました。二つのグループの存在は知っていましたが、いざこうやって説明をお聞きすると、こんなにもたくさんの活動をされていたのだと、改めて感動しました。終わってからの子ども達の質問では、「どうしたらAPPに入れますか?」といううれしい質問が飛び出しました。



地域の方々と関わる学習へ

今回、3～6年のすべての学年の学習に地域の方々から入っていただき、お話をさせていただきました。これまで子ども達は、これほどまでに「地域の大人」の話を聞いたり、「地域の大人」と会話をしたりしたことはなかったのではないかと思います。「地域の課題」は、残念ながらこれまでは子ども達の学習の対象ではありませんでした。しかし、今年度から、子ども達なりに地域を知り、地域の課題を理解し、その課題を解決する学習が始まります。その学習をサポートしてもらうのが、今回来校くださった方々をはじめとする地域の皆さんです。子ども達がどれだけ地域の方と触れ合えるかが、この総合学習の大きな鍵となります。